

Semester2 が始まり、1 か月ほどが経過しました。生徒はアートプロジェクトやさいたま市駅伝競走大会など、「〇〇の秋」になぞらえた活動に勤しんでいます。そしてこの秋はポートフォリオ検討会をはじめ、いつも以上に多くの保護者の皆様に来校いただき、様々な面でご協力いただいた秋でもありました。今回はその一部をご紹介します。

◆仕事塾

9月・10月の LDT では、「仕事塾」が行われました。「仕事塾」とは、さまざまな分野で活躍する MOIS 生の保護者の方を学校にお招きし、仕事やキャリアに関する話をしていただく Workshop です。学校以外の社会を知る機会がまだまだ少ない生徒にとって、このような機会は大変貴重であり、参加した生徒は真剣に話を聞き、仕事内容について積極的に質問する姿が見受けられました。自分の将来の仕事やキャリアについて、中高生のうちから考えていくことは非常に大切です。今後もポートフォリオ検討会をはじめ、保護者の皆様と一緒にお子様のキャリア形成を考えていけたらと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、今回の仕事塾にご協力くださった保護者の皆様、貴重なお話を本当にありがとうございました！



- (写真①) テーマ「食品の安全と安心の品質を支える認証審査員の仕事」
- (写真②) テーマ「キャリアを考える、キャリアを作るとは?～グローバル製薬企業の現在を踏まえて～」
- (写真③) テーマ「観光を考える視点 -時代の価値観を捉えよう-」
- (写真④) テーマ「デジタルを活用して新しいビジネス・サービスを創る」

◆PTP プロジェクト主催「MOIS Cafe」

11月11日(土)の午前中に、保護者交流会「MOIS Cafe」が行われました。かねてからご案内の通り、本校の PTP は「できる人ができるときに」をモットーに、「プロジェクト型」の運営を行っています。今回のプロジェクトでもチラシの作成、案内から準備、運営まで、全て有志の保護者の方々に行っていただきました。保護者同士による進路や子育ての悩みの共有、教員との意見交換といった保護者と教員の交流はもちろんのこと、生徒を交流会に呼んで IB や学校生活について意見交換するという、MOIS ならではの場面もあり、様々なトークで盛り上がりました。プロジェクトメンバーの皆様、企画から運営まで、ありがとうございました。

今後も様々なプロジェクトが計画されています。詳しくは Classi の PTP グループメッセージをご確認ください(途中加入したい、という方は教務部までお問い合わせください)。



11/11(土) 体育館にモイスカフェがオープン!
 今年のカフェは、「4つのテーマ」でアースを分け開きます。
 興味のあるアースを選びませんか? 途中移動してOK!
 リラックスした雰囲気の中で、楽しく、少しだけ素敵な話をしながら、
 一緒に有意義な時間を過ごしましょう! 是非お気軽にご参加ください。





「November Session Examinations: A Preview of November 2024」

IB コーディネータ: Brad Semans

The International Baccalaureate Diploma Programme (IBDP) is a rigorous and internationally recognized educational program for high school students. One of the key components of the IBDP is the external examinations. These assessments are designed to evaluate students' knowledge and skills in a comprehensive and standardized manner. In this text, we will explore the IBDP external examinations, their purpose, structure, and significance.

Synchronous International Baccalaureate Diploma Programme (IBDP) examinations held in late October and early November represent a critical phase in the academic journey of IBDP students. These exams, often referred to as the "November session," are part of the comprehensive assessment process that evaluates the knowledge and skills students have acquired during their two-year IBDP program.

During this period, IBDP candidates worldwide sit for written papers in various subjects, including but not limited to mathematics, sciences, humanities, and languages. These exams are structured to be demanding and time-sensitive, challenging students to apply their understanding and critical thinking abilities under pressure. While they represent a significant academic hurdle, they also offer students an opportunity to showcase their mastery of the subject matter. The written papers in each subject typically consist of essay questions, data analysis tasks, and short-answer questions, depending on the subject. Students must apply their knowledge and problem-solving skills to respond to these questions under timed conditions.

The IBDP external examinations serve several crucial purposes within the program. First and foremost, they assess students' understanding of the subject matter they have studied during the two-year course. Another important purpose of these exams is to ensure the credibility and consistency of the IBDP worldwide. By conducting standardized external examinations, the IB organization maintains the quality and integrity of the program, ensuring that students in different countries are held to the same high standards. This helps universities and colleges around the world have confidence in the qualifications of IBDP graduates.

In conclusion, the IBDP external examinations are a fundamental component of the program, serving to evaluate students' knowledge, skills, and preparedness for the future. These assessments are academically challenging and internationally recognized, making the IBDP a respected and prestigious educational pathway.

Date (月)	午前 試験			午後 試験		
	教科	試験	時間 (分)	教科	試験	時間 (分)
10/30 (月)				Math HL	Paper 1	120
				Math SL	Paper 1	90
10/31 (火)	言語と文学 HL	Paper 1	135	Math HL	Paper 2	120
	言語と文学 SL	Paper 1	75	Math SL	Paper 3	60
11/1 (水)	言語と文学 HL・SL	Paper 2	105	歴史 HL・SL	Paper 1	60
11/2 (木)	化学 HL	Paper 1	60	歴史 HL	Paper 2	90
	化学 HL	Paper 3	75	歴史 HL	Paper 3	150
	化学 SL	Paper 1	45			
	化学 SL	Paper 3	60			
11/3 (金)	化学 HL	Paper 2	135			
	化学 SL	Paper 2	75			
11/6 (月)				English HL	Paper 1	130
					Paper 2 <small>Reading</small>	60
11/7 (火)	English B	Paper 2 <small>Writing</small>	60			

This is the 2023 exam schedule. Next year, our first cohort can expect the same kind of schedule.

TOPIC : ポートフォリオ検討会

11月上旬に行われたポートフォリオ検討会では、ご多用の中多くの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。前期課程生においては、夏休みからこれまでの期間で成長したところ、課題に残ったところ、そして将来に関することを、生徒自身がプレゼンテーションしました。保護者の皆様から見て、お子様のプレゼンテーションはどのように映ったでしょうか。学年があがるにつれて、お子様のプレゼンテーションの成長ぶりに、驚く声が増えていっていると感じています。お子様の話す力、表現する力は日頃の努力の賜物だと思います。ぜひ頑張った部分、成長した部分を褒めていただき、今回出てきた課題についてはどう改善していくか、ご家庭でお話いただけると幸いです。



また後期課程生については、今後の学習計画の検討、そして外部模試の振り返り等を行いました。点数や順位などから、自分の立ち位置を確認する良い機会だったと思います。結果を真摯に受け止め、課題として残った部分の改善に努めるよう、学校では指導を行いましたので、ご家庭でもご助言願います。また、模試の結果から分かった MOIS 生の特徴として、「思考力・表現力」の部分が他校に比べて圧倒的に秀でているものの、「知識」の部分で他校に少し劣っている、という傾向が見られました。前号でご紹介したスタディサプリを活用しながら知識の定着を図っていきたい、と考えています。

12月13日(水)～15日(金)の期間には、授業参観を実施します。ぜひともご来校いただき、MOIS の授業、そしてお子様の成長した様子をご覧ください。

1 学年 「British Hills 国内異文化体験を終えて」

1 学年担当:松山 侑紀

少し時間が経ってしまいましたが、1 学年は 9/27～29 の期間、British Hills において 2 泊 3 日の国内異文化体験を実施することができました。保護者の皆様には様々な面でご協力いただき、ありがとうございました。生徒たちは行きバスの中から早速、英語を使った会話やレクリエーションに励み、非日常を楽しんでいました。研修施設に到着すると、部屋ごとのチェックイン、オリエンテーションを終え、3日間で 90 分×8レッスンのプログラムがスタートしました。最初は緊張気味だった表情も、徐々にやわらぎ、ネイティブの先生の発問に対し積極的に答えたり、辞書を片手に活発な議論を交わしたりする姿が見られました。ここで、生徒がしおりに書いた Diary の一部を紹介させていただきます。

◇Today, I made scones. I cooperated with my group members.

◇In the lesson "Let's start a Business", our team won!

◇I got self-control, team work, and English skills in British Hills.

英語のみで幅広いテーマの学習や日常生活ができたことの自信に加え、互いに協力して集団生活を送ったことにより自律心や協調性も高めることができたようです。これからの学習や生活にもつなげていってほしいと思います。



チェックイン時



レッスン中



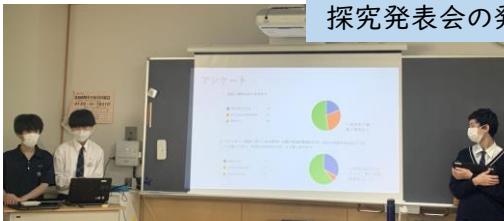
夕食時

2学年 「次の行動はどうすべきか」

2学年担当：山下 紘輝

Semester1 末に、探究発表会が行われました。各個人が3G プロジェクトのグループにて、Semester1 で取り組んだ成果物について発表しました。そのなかで、SDGs に関する考えを深めることを意図した成果物として、とても興味深いものが多く見受けられました。また、2年生の発表を見に来た上級生が、「成果物のクオリティが高い」「内容がよく考えられている」という感想を話していたことが印象に残っています。2年生の生徒の発想力や問題解決に向けた多種多様なアプローチの成果が、立場や学年を越えて心を動かしているのだと実感しました。Semester2 は個人での探究になりますので、今回の活動の反省や振り返りをもとに、精一杯取り組んでもらいたいと思います。

11月のポートフォリオ検討会ではお忙しい中ご来校いただき、ありがとうございました。Semester1 の学習や学校生活の振り返りをしていくことで、今後の自身の在り方を見つめ直し、次の行動につながるような具体的かつ効果的な方法を考えるきっかけにしてほしいと思います。



探究発表会の発表の様子



ポートフォリオ検討会の発表練習の様子

3学年「深まる学習活動」

3学年担当：神山 裕章

Semester 1のHR 委員を中心に企画・運営をすすめた学年レクリエーションが秋休み前に開催されました。多くの課題をこなしてきた生徒たちは、ドッジボール・スポーツ鬼ごっこ・クラス対抗リレーで汗を流し、その後の室内レクでは親睦を深めました。

秋休み明けには各種委員会決めが行われました。多数の立候補により投票となったクラスも多く、自分の力を試してみたいという積極的な姿勢が見られました。あわせてSA への参加希望もとりまとめられ、Semester 2 が動き出しました。3G プロジェクトでは、4年次に取り組む Personal Project につながる活動として、Personal Project Entry が始まりました。各自で自分の将来や社会課題の解決につながるようなテーマを設定して取り組んでいきます。また、MOIS Cup (英語・日本語でのディベート大会、他校生徒も参加)の校内予選会が開催されました。念入りな事前準備をもって、肯定・否定双方の立論・質疑、第1・第2反駁に臨みました。11月25日にMOISにて本戦が予定されており、MOIS 生の活躍が期待されます。



学年レクリエーション



委員会・SA 活動



MOIS Cup 予選

4年次「Semester2を迎えて」

4年次担当:戸所 良介

Semester I が終わり、お子様には通知表をお渡しました。ご家庭でも確認いただけたでしょうか。4年次では Semester I 末時点での通知表に、これまで記載してきた MYP 評定に加えて、学習指導要領の定める評価を記載しています。これまでの欠課時数(授業を欠席した数)も記載されていますので、参考までにご確認ください。単位の履修・修得には規定以上の授業の出席と、学習指導要領における評定“2”以上が求められます。ただし、今回の通知表はあくまでも「中間報告」です。受け取った評価に一喜一憂するのではなく、良かった教科・科目については継続していくこと、そして改善を要する教科・科目についてはネガティブにとらえず、ポジティブな視点で改善を図っていき、Semester2、そしてその先の未来へつなげていけるよう、協力してやっていけたらと思っています。

また11月に行われたポートフォリオ検討会では大変お世話になりました。今後の生徒自身の目標を明確にできるような、有意義な話し合いができたと思っています。また今後とも、よろしくお願いいたします。



5年次「確かな“Breakthrough”を」

5年次担当:北川 嘉則

Semester I 末の4年次生との合同 LHR では、HR 委員を中心に当日の雨天にも関わらず、自分たちで予定になかった新しいレクリエーションを考え、運営を分担して行うなど、最上級生としての頼もしさを見せてくれました。また、探究発表会では、Semester I に取り組んだ探究学習や卒業研究の進捗状況、今後の方向性について、各々工夫を凝らして聴衆も巻き込みながら発信していました。こうした活動の経験は確実に生徒一人ひとりの未来を拓く力になっていると確信しています。しかし、こうした経験も日々の一コマとして流してしまい、自分の成長や強みに気づいていない、自信を持ってない生徒もいるように思います。学年集会では、残された短い時間のなかで、こうした本校でのこれまでの経験を最大限に活かして、「確かな急成長を期待する」と、学年主任より強いメッセージを送りました。第2回のポートフォリオ検討会での内容もふまえて、これまでの活動を通じて身についた力や、それはどのように進路実現に活かせるのか、ご家族の視点からも助言していただければと思います。

Semester2 も学年団は生徒一人ひとりの Breakthrough を後押ししてまいりますので、よろしくお願いいたします。

